

## 文化財見学のしおり

伊勢原市、日向薬師。ダムに沈む村宮ヶ瀬頃

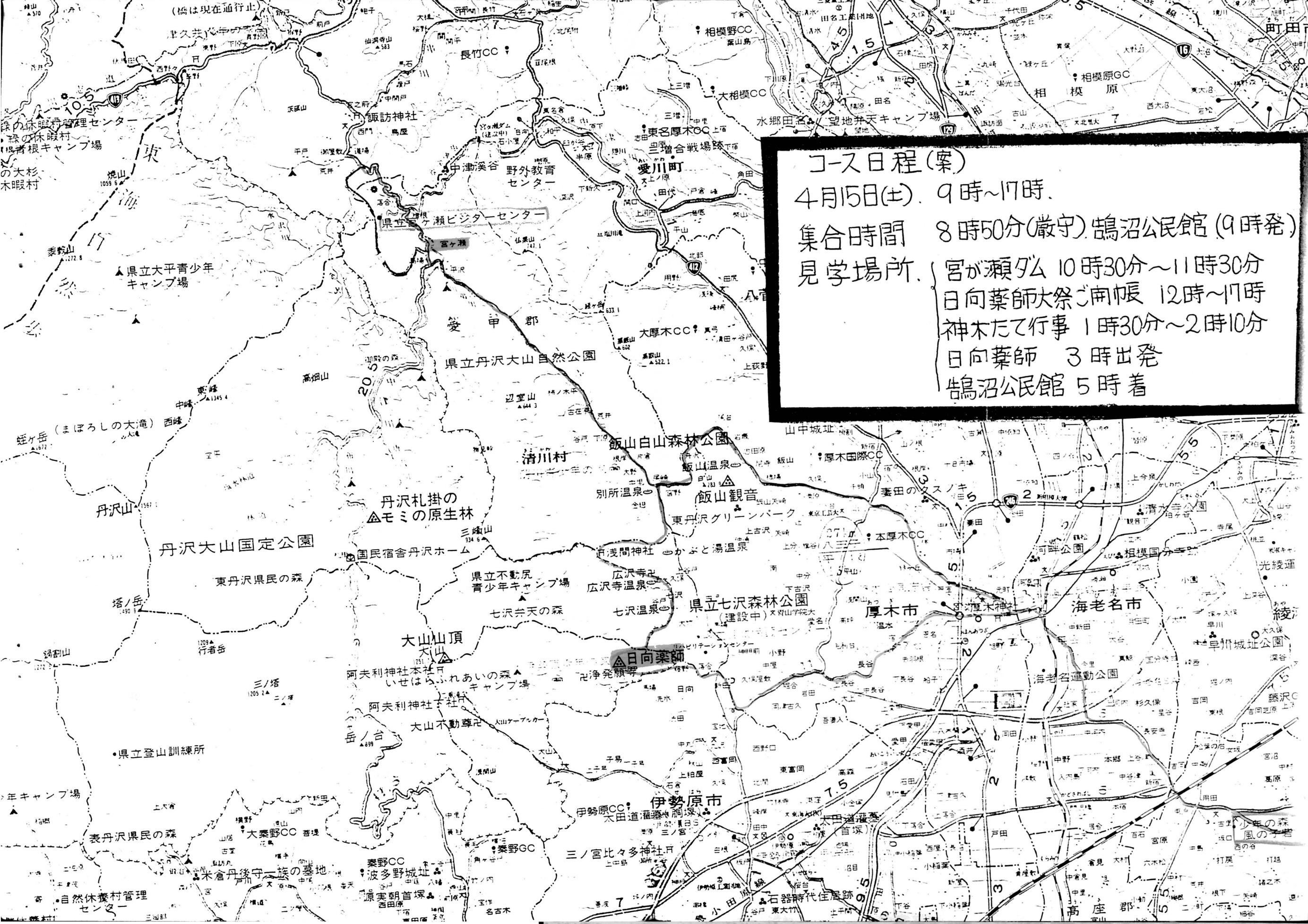
第 4 7 号

1989年 4月 15日

私選いせはら旧跡100選 大村利雄

有隣 (株) 有隣堂

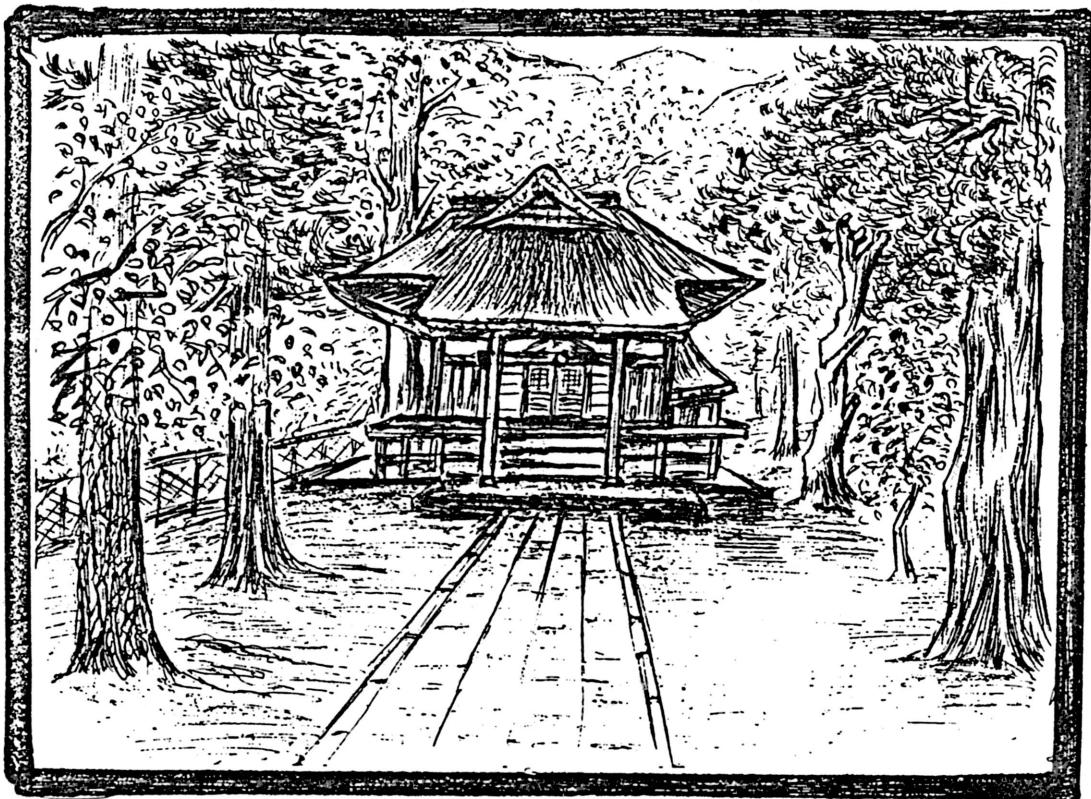
鶴沼を語る会



⑨2 日向の石像 不動尊



日向薬師の坊中、一の木戸に石造の不動尊  
があつたが、最近になつて薬師<sup>だいもん</sup>大門に移された。  
昔、修験者は不動尊を守本尊と仰ぎ尊崇して  
いたといふ。それ以後、民間でも諸種の願望成就  
のために不動尊が信仰され今日に至る。  
この不動尊の作者、年代は不明であるが、薬師に  
修験者がいたころと推察される。

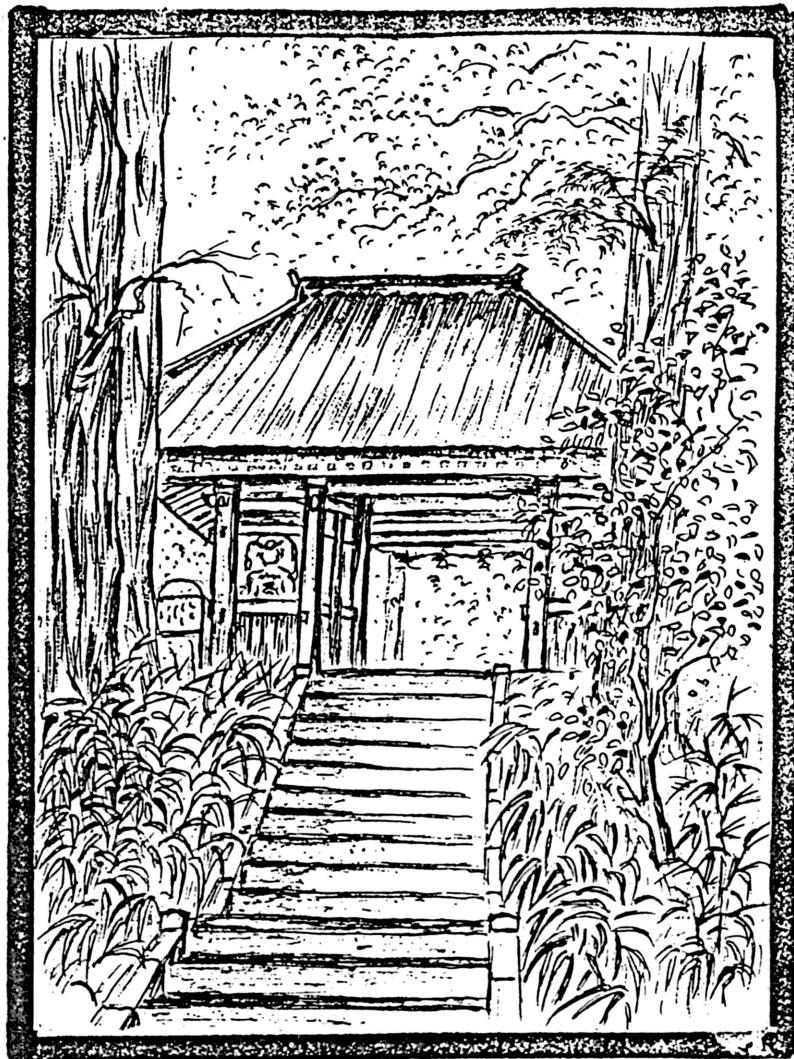


⑨3 日向の白鬚神社

(日向の鎮守様)

天智年間668年、朝鮮の高句麗の國が  
亡び、高句麗王若光の一団が日本に亡命。  
今の大磯町に上陸し住みつく。その若光  
が日向薬師開創に当たり、僧行基に靈木  
を与えたという。若光は美しい白鬚(あご  
ひげ)の持主で、白鬚明神とよばれた。  
若光をまつた神社。境内に熊野神社あり。

(54) 日向葉師の仁王門



天保4年、1833年に再建された仁王門。  
門内に安置された金剛力士像は鎌倉の仏師  
後藤運久の作。(後藤家は今も鶴岡八幡宮前に  
鎌倉彌博古堂として残る)。

石段下を「衣裳場」といい、頼朝・葉師参詣のおり、  
衣裳を整え正装した所。また、門の上の所に甲岩  
があり、鎌倉武士が「甲をかけて休む所」という。



## ⑨5 日向薬師の鐘楼と鐘.

薬師本堂の右に、鐘楼があり。暦応3年、1340年銘の銅鐘がかけられ、国の重要文化財に指定されている。鐘は天歷6年952年、村上天皇の発願で納められ、仁平3年1153年、鳥羽法皇の院宣で改鑄。総高137cm、口径79.5cm。大和權守物部光連作。銘文の終わりに「勅請12神將」の文字あり。(鐘楼のそばには、2本の杉巨木あり、樹齢800年と推定  
「<sup>はせ</sup>掛け杉→足利基氏が奉納した大幡をかけた」)

⑨6 日向薬師(日向山靈山寺)



元正天皇の靈龜2年(716年)、僧行基の開創。本堂は  
万治3年(1660年)徳川(江戸)時代初期の作、单層  
草葺き、朱塗りで、いかにも山寺らしいいたずまいである。

1. 源頼朝等、薬師参詣
2. 国指定重要文化財24点(収蔵庫)
3. 修験道場(1486年、本山派の棟領宿泊)  
(1569年、日向の山伏が武田軍と戦う)
4. 県重文の獅子頭と太太鼓あり。



## ⑨7 日向の無常山淨發願寺

慶長13年、1608年 木食彈誓上人の開山といわれる。

昭和13年秋の台風による山津波で諸堂潰滅し、現在地に移る。1755年、江戸浅草の人々によって造立された丈六の地蔵尊銅像が寺内にある。

徳川家康は淨く上人に帰依し、一の沢の土地165,000坪を寺領としておく。 (一時は400人の僧がいたという)。

別名「駆けみ寺」といい、犯罪者がかけんした寺であった。寺宝として、「彈誓上人絵巻」3巻、上人が衣の袖で書いたという「雨乞いの六字名号の大掛軸」がある。





